



令和3年度 病院長報告会 九州大学病院の現状とこれから

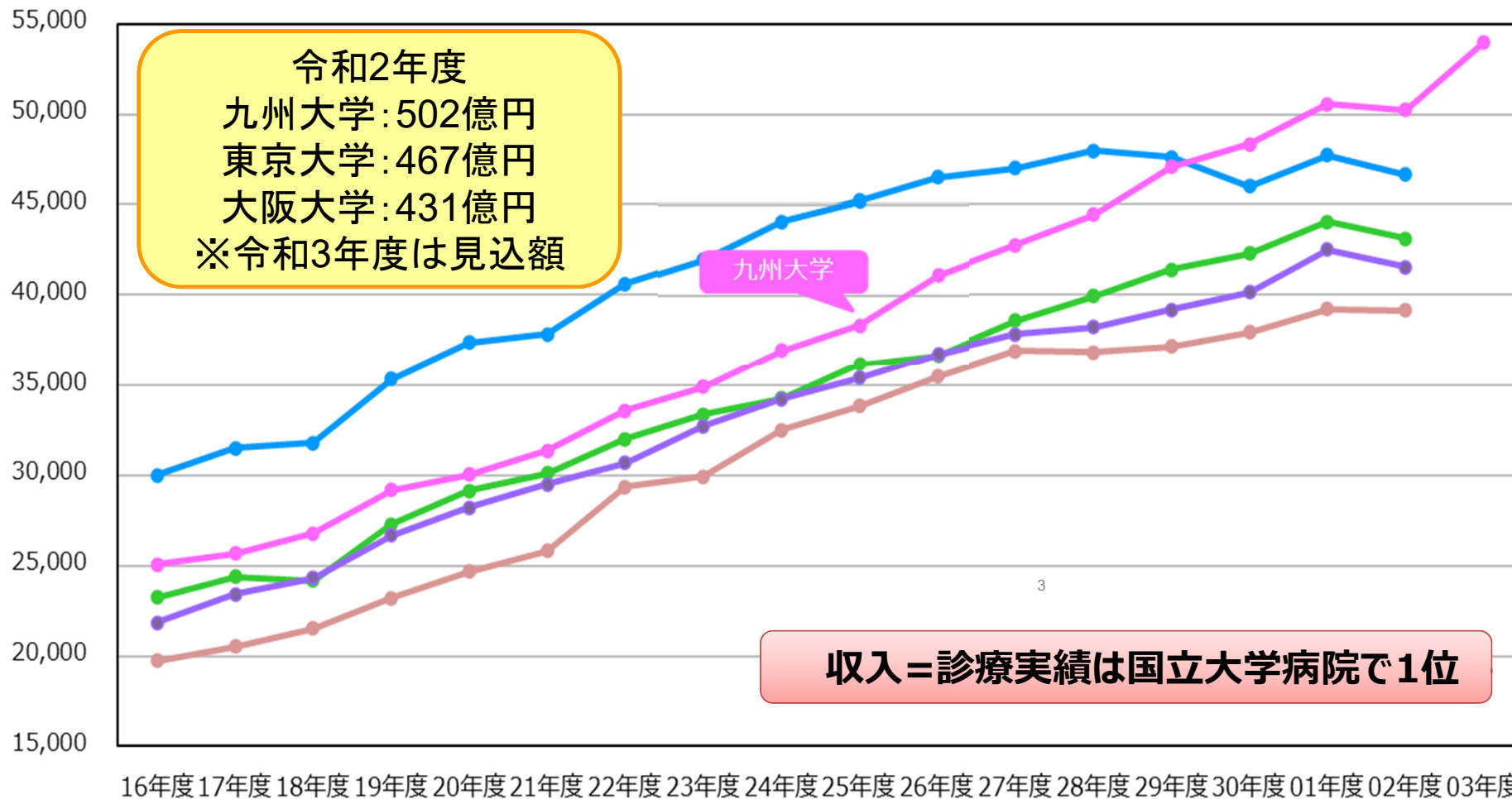
九州大学病院長 赤司浩一

2022年3月22日

- 1. 本年度の収支について**
- 2. 新型コロナウイルス感染症への対応**
- 3. 入退院・周術期支援センター**
- 4. 別府病院再開発事業**
- 5. 医師の働き方改革への本学の対応**
- 6. 病院キャンパス整備事業等について**
- 7. 指定国立大学構想と病院経営**

年度別診療報酬請求額比較

* 上位5国立大学病院



● 東京大学 ● 九州大学 ● 大阪大学 ● 東北大学 ● 名古屋大学

国立大学病院管理会計システム(HOMAS)稼働額WEBより(令和3年8月26日抽出)

1. 本年度の収支について
2. **新型コロナウイルス感染症への対応**
3. 入退院・周術期支援センター
4. 別府病院再開発事業
5. 医師の働き方改革への本学の対応
6. 病院キャンパス整備事業等について
7. 指定国立大学構想と病院経営

パンデミックの歴史



ペスト 165-180
500万人
アントニウス帝政

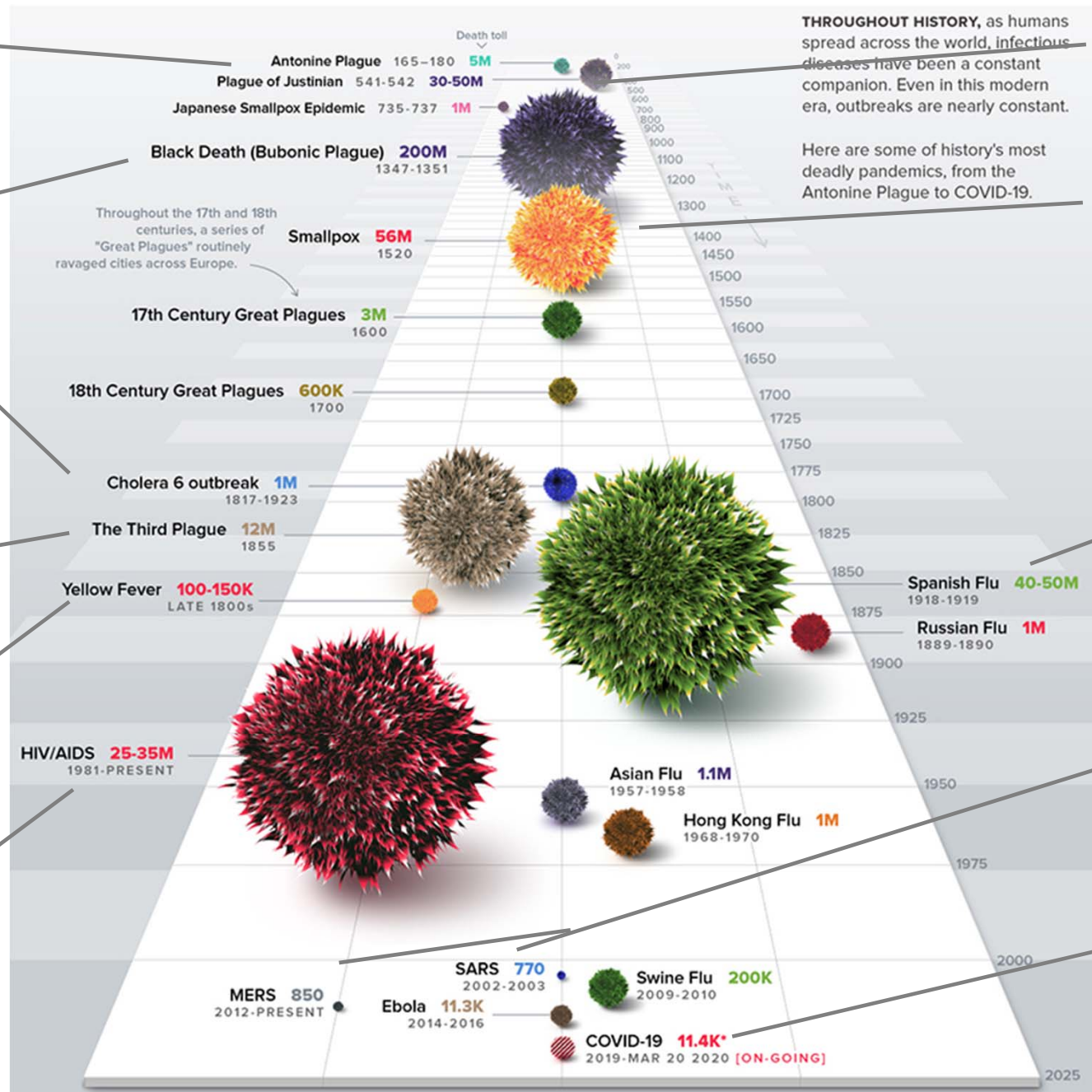
ペスト 1347-51
2億人 黒死病
ユーラシア

コレラ 1816-23
100万人
ヨーロッパ

ペスト 1855-1900?
3000万人
中国一全大陸

黄熱病 1800-1920
150万人
アフリカ・南米

HIV/AIDS
1981-現在
3500万人
アフリカー全世界



ペスト 541-542
5000万人
ユスティニアヌス帝政

天然痘1520-1630
アフリカ・ヨーロッパ
南米 5600万人

新型インフルエンザ
スペインかぜ
5000万人
1918-1920

SARS 2002 770人
中国
MARS 2012 850人
中東

COVID-19 2019-
新形コロナ
600万人↑ 全世界

論 說

「インフルーエンザ」ノ臨牀的事項

第十七回日本内科學會總會宿題報告

醫學博士 稻 田 龍 吉

總會席上ニ於テハ時間ノ都合上主要ナル部分ノ報告ノミニ止メタリシガ、本稿ニハ其他ノ事項ヲモ附加セリ、三月末日
獻ハ可及的通覽シタルツモリナリシガ尙遺漏多カルベシ、四月以後ノ文獻ハ本稿ニハ考慮セズ、尙ホ余ハ自己ノ力ト調
シ得ル時間トヲ計ラズシテ報告ヲ擔任シ遂ニ甚ダ粗雜ナル報告ヲ爲スニ至リシハ恐縮ニ堪ヘザル所ナリ、御寛恕ヲ乞フ、
「インフルーエンザ」、「グリップ」ナル語ニ就テ

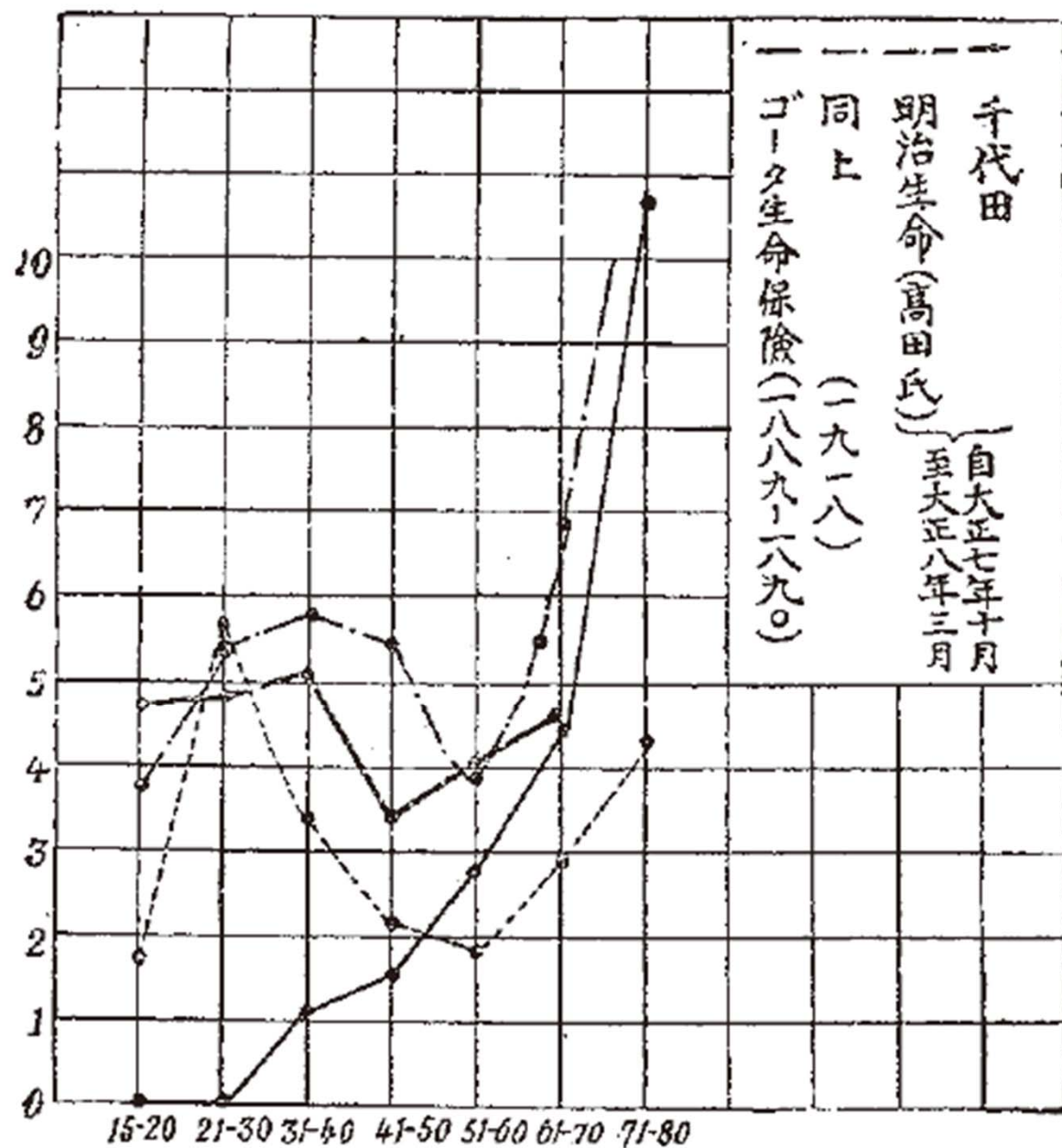
「インフルーエンザ」ナル語ハ Leichtenstern 氏ニヨレズ英國ノ Pirngie 及 Huxham 氏ガ千七百四十三年ニ初メ
タル所ナリトイフ、亞米利加ノ文獻ニヨルニコレハ同年ニ伊太利ヨリ英國ニ渡リ來リタル語ナリト云フ、「イ
ーエンザ」ナル語ハ以太利亞語ナルコトハ今日諸家ノ認ムル所ニシテ、Sahl 氏モ昨年三月ベルンノ萬有學會
セル演說ニ於テコレハ羅甸語ニアラズシテ純粹ナル以太利亞語ナリトセリ、此語ノ由テ來ル所以ハ Leichten
ノ書ニ説明セラレアリ、文獻ヲ通覽セル際 Cromwell ガ千六百五十八年ニ恐クハ本病ニ罹リ死亡セルナラン
載ヲ見タリ。「グリップ」ナル語ハ Leichtenstern 氏ニヨレバ丁度同年即チ千七百四十三年佛國ニ於テ現ハレタ
フ、亞米利加ノ文獻ニテハ千七百十二年ヨリ用キラルトセリ、佛語ノ agripper (慾望的ニ捕マヘル) 又ハ Stri-

1920年 日本内科学会
宿題報告

九州大学第一内科
初代 稲田龍吉教授

第2図 年齢による死亡率

(1,000人に対する) の曲線



月	本院の対応	国・福岡県の状況
R2.2	<p>2.22 最初の感染症患者を受入れ (救命ICU 3/6転院)</p> <p>2.25 コロナウイルス感染症対策本部を設置</p>	2.20 : 福岡県で初めての感染症患者を確認
R2.3	<p>3.18 入院患者への面会を原則禁止に</p> <p>3.27 南棟時間外外来出入口を封鎖 職員用無料駐車場 (400台分) 設置</p>	
R2.4	<p>4.4 中等症、軽症患者の受入開始</p> <p>4.7 歯科部門の診療制限開始</p> <p>4.8 医科部門の診療制限開始</p> <p>4.10 電話診療による処方箋発行の開始</p> <p>4.16 発熱スクリーニング外来設置</p> <p>4.21 術前PCR検査の試行実施</p> <p>4.23 感染症入院患者が21人に (最大数)</p>	<p>4.7 政府が緊急事態宣言</p> <p>4.11 福岡県の1日の新規感染者43人 (第一波最大数)</p>
R2.5	<p>5.7 外来化学療法の病棟での実施</p> <p>5.28 感染症入院患者が0人に</p>	5.14 政府が福岡県を含む39県で緊急事態宣言を解除
R2.6	6.1 診療制限の解除及び電話診療による処方箋発行の取扱中止	
R2.7	7.7 感染再拡大に伴い感染症患者の受入再開始	
R2.8	8.11 JMAT (日本医師会災害医療チーム) として、	

第一種 福岡東医療センター（2床）

第二種 県内12病院（計64床）

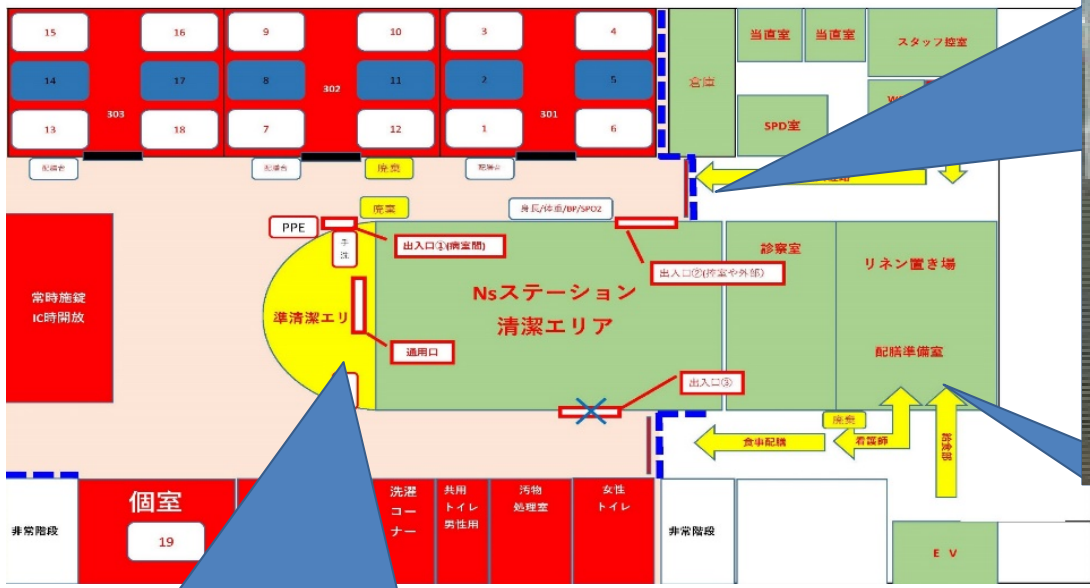
ブロック	病院名称	所在地	病床数
福岡	福岡市民病院	福岡市	4
	九州医療センター	福岡市	2
	福岡赤十字病院	福岡市	2
	福岡大学筑紫病院	筑紫野市	2
	福岡徳洲会病院	春日市	2
	福岡東医療センター	古賀市	10
北九州	北九州市立医療センター	北九州市	16
筑豊	田川市立病院	田川市	8
筑後	聖マリア病院	久留米市	6
	新古賀病院	久留米市	8
	筑後市立病院	筑後市	2
	大牟田病院	大牟田市	2

病院本館（外来棟・北棟・南棟）と離れた場所にコロナウイルス感染症患者受入れ専用病床を確保



イノベーション別館病棟配置図

エリア別	マスク・ガウン・手袋・キャップ(汚染区域)	出入口①	患者とスタッフの出入口
PPE	マスク・ガウン・手袋・キャップ(汚染区域)	出入口②	物搬交代時の通用口
	マスク着用(準清潔エリア：前室)	出入口③	経路
	マスク着用(清潔エリア)	出入口④	経路



病床前廊下 (汚染区域)



ナースステーション前室 (準清潔エリア)



配膳準備室 (清潔エリア)

月	本院の対応	国・福岡県の状況
R2.2	<p>2.22 最初の感染症患者を受入れ (救命ICU 3/6転院)</p> <p>2.25 コロナウイルス感染症対策本部を設置</p>	2.20 : 福岡県で初めての感染症患者を確認
R2.3	<p>3.18 入院患者への面会を原則禁止に</p> <p>3.27 南棟時間外外来出入口を封鎖 職員用無料駐車場 (400台分) 設置</p>	
R2.4	<p>4.4 中等症、軽症患者の受入開始</p> <p>4.7 歯科部門の診療制限開始</p> <p>4.8 医科部門の診療制限開始</p> <p>4.10 電話診療による処方箋発行の開始</p> <p>4.16 発熱スクリーニング外来設置</p> <p>4.21 術前PCR検査の試行実施</p> <p>4.23 感染症入院患者が21人に (最大数)</p>	<p>4.7 政府が緊急事態宣言</p> <p>4.11 福岡県の1日の新規感染者43人 (第一波最大数)</p>
R2.5	<p>5.7 外来化学療法の病棟での実施</p> <p>5.28 感染症入院患者が0人に</p>	5.14 政府が福岡県を含む39県で緊急事態宣言を解除
R2.6	6.1 診療制限の解除及び電話診療による処方箋発行の取扱中止	
R2.7	7.7 感染再拡大に伴い感染症患者の受入再開始	
R2.8	8.11 JMAT (日本医師会災害医療チーム) として、	

1. 本年度の収支について
2. 新型コロナウイルス感染症への対応
3. **入退院・周術期支援センター**
4. 別府病院再開発事業
5. 医師の働き方改革への本学の対応
6. 病院キャンパス整備事業等について
7. 指定国立大学構想と病院経営



センターの効果

<入院前から行う周術期管理>

- 麻酔科による術前診察
- 薬剤師による術前禁忌薬の確認 等



- ① 手術の**有効性、安全性**を高める
- ② また、術後の回復を早めるため、**在院日数の短縮**にも繋がる

<入院前から行う患者情報の収集>

- 多職種により収集した患者情報を入院前から病棟や事務部門と共有



- ① 入院当日に行う**病棟業務の負担を軽減**
- ② **早い段階で退院支援**を開始でき、円滑な退院に繋げる

センターの拡大状況

2014年4月

周術期支援センター
運用開始

2018年11月

周術期支援センター
拡大を提示

2019年4月

周術期支援センター
移転・拡大

2020年4月

医療連携センターの再編
入退院・周術期支援センター設置

2021年8月

入退院・周術期支援センター
移転・拡大



今後について

< 支援対象の拡大 >

支援を必要とする患者の対象について、協議を行い、今後も随時、支援対象の拡大を検討する。

< 移転後の入退院・周術期支援センター >

病院の正面玄関入口横に移転し、患者さんの利便性が向上した。



開所式の様子



受付



廊下



面談室内



コンビニ(ローソン)

外来診療棟 1階ホスピタルモール
月-金 7:00-21:00
土・日・祝日 7:00-20:00



レストラン(ロイヤルホスト)

外来診療棟 1階ホスピタルモール
月-金 8:30-20:00
土・日・祝日 9:30-20:00



・ 喫茶(タリーズ)

外来診療棟 1階 西側 屋外別棟
(医学図書館側)

毎日 7:00-20:00

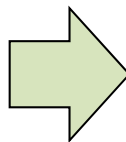
1. 本年度の収支について
2. 新型コロナウイルス感染症への対応
3. 入退院・周術期支援センター
4. 別府病院再開発事業
5. **医師の働き方改革への本学の対応**
6. 病院キャンパス整備事業等について
7. 指定国立大学構想と病院経営

■医師の働き方改革の基本理念

医師の働き方改革では「地域医療の持続性」と「医師の健康への配慮」の2つを両立することが重要

- ◆労働時間の把握
- ◆労働時間の縮減
- ◆健康確保措置の導入

※働き方全体の見直し



- ◆良質かつ適切な医療を提供する体制
- ◆働きやすい病院へ

■本学における取り組み

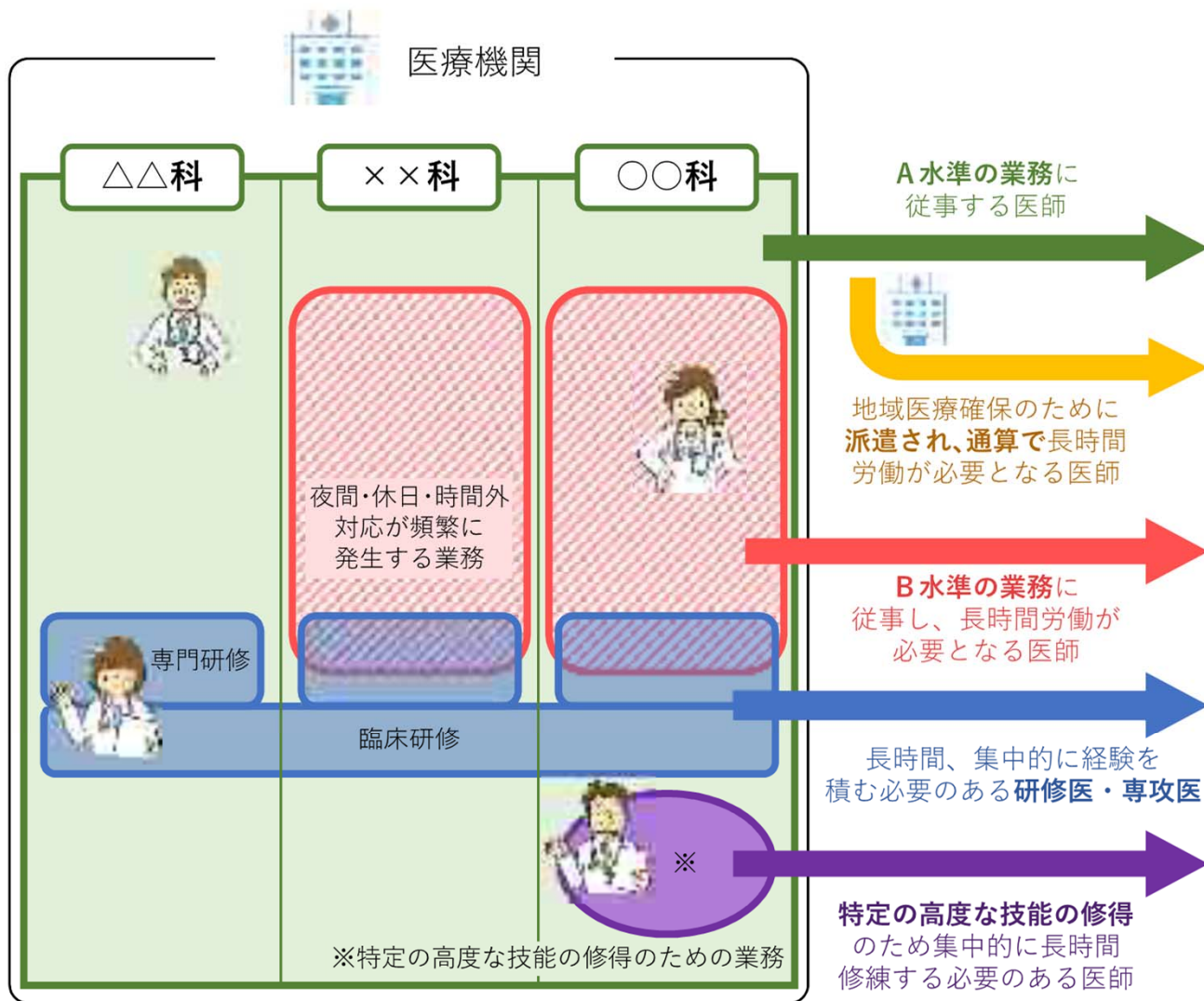
(1) 新たな勤務時間管理システム (Dr.JOY) の導入

適正で客観的な方法による新たな勤務時間管理システム (Dr.JOY) を導入し、①時間外勤務、②外勤 (兼業) 時間 等の把握を行う



A水準以外の各水準は、指定を受けた医療機関に所属する全ての医師に適用されるのではなく、**指定される事由となった業務やプログラム等に従事する医師にのみ適用される**。所属する医師に異なる水準を適用させるためには、医療機関は**それぞれの水準についての指定を受ける必要がある**。

*年の時間外・休日労働時間数（簡明さを優先し、詳細は省略）



医療機関に必要な指定	医師に適用される水準	
	36協定で定めることができる時間*	実際に働くことができる時間*(通算)
—	960以下	960以下
連携B	960以下	1,860以下
B	1,860以下	1,860以下
C-1	1,860以下	1,860以下
C-2	1,860以下	1,860以下

この医療機関の例の場合、
 ↳ 連携B、B、C-1、C-2の4つの指定が必要となる。
 （それぞれの指定要件は大部分が共通）

臨床研修医にはより強い健康確保措置



(2) 柔軟な勤務シフト等の導入

- ① 1週間の所定勤務時間（週38.75h）を確保し、早出・遅出、1日（半日）外勤が可能となるシフト制勤務の導入
- ② 柔軟な勤務の実現のため、フルタイム勤務（週38.75h）を基本とする医員（月給制）の創設

※地域医療確保を目的に、週1日の外勤（兼業）従事時間を確保

(3) 診療従事手当等の見直し

診療にかかる手当の廃止・見直し等を行い、所定の勤務時間外における全ての活動時間を適正に評価

※実態に即して「業務」と「研鑽」で整理、「業務」については時間外勤務手当を支給

(4) 業務と研鑽の区分

所定の勤務時間外における活動を、「業務」と「研鑽」に区分する区分表の導入

※時間外勤務の対象となる「業務」を明確に。なお、管理者（診療科長等）の命令・承認が必要

■ Dr.JOY スマホでの利用も可能

毎日の打刻

自動検知



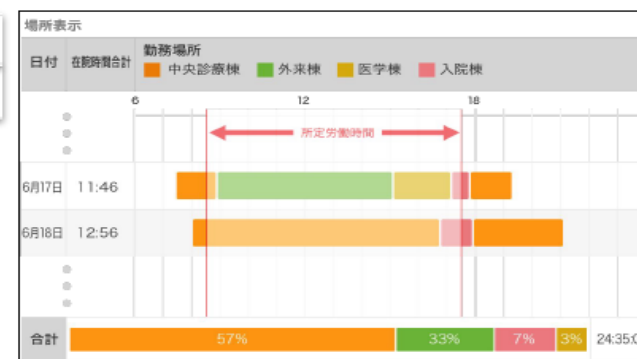
申請

補助があり、
選択するだけ



分析

人、時間、場所、
残業理由データが
現場負担少なく
自動で集まる

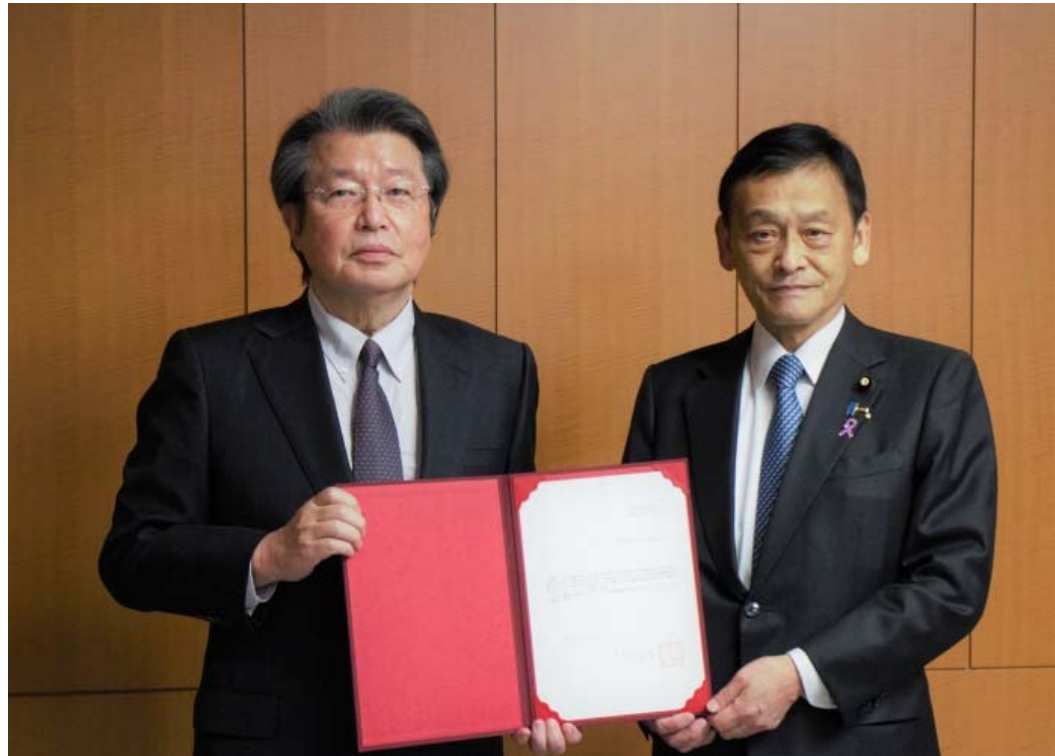


- ・ ICカードタッチ不要
- ・ 自動で出退勤の記録
- ・ 残業・研鑽の切り分け
- ・ 医師の働き方データ分析
- ・ タイムライン機能による滞在時間の見える化

1. 本年度の収支について
2. 新型コロナウイルス感染症への対応
3. 入退院・周術期支援センター
4. 別府病院再開発事業
5. 医師の働き方改革への本学の対応
6. 病院キャンパス整備事業等について
7. **指定国立大学構想と病院経営**

九州大「指定国立大学法人」に 全国で計10校に

2021年11月22日 20:16



文部科学省は22日、国立大のうち特別に支援する「指定国立大学法人」として、新たに九州大を指定したと発表した。既に指定を受けている東京大や京都大などとあわせ、計10校となった。

指定国立大は研究力向上やイノベーション創出のけん引役を担う国立大を育てる目的で、2017年度に導入された。出資できる企業などの対象が拡大し、経営の裁量が広がる。九州大は20年に指定が見送られ、再申請していた。

総合知で社会変革を牽引する大学

1. 九州大学の目指す姿

今回の新型コロナウイルス感染症のパンデミックにより、全世界の社会・経済が大きな影響を受け、社会・経済システムの変革と再構築が強く求められている。多様な「知」と「人材」が集まり、新たな価値創造の基盤となる研究とイノベーションの創出を牽引できる大学が果たすべき役割は大きい。

九州大学は、指定国立大学法人として、自然科学系と人文社会科学系の知の融合による「総合知」によって、社会的課題の解決とそれによる社会・経済システムの変革に貢献する「総合知で社会変革を牽引する大学」となることを目指して、最高水準の研究教育を展開する大学への改革を断行する。この改革により、秀逸な人材と社会の関心を惹きつける求心力を生み出し、福岡・九州から、日本、アジアそして世界へと緊密につながりながら、総合知によって直面する社会的課題を解決して持続可能な社会の発展と人々の多様な幸せ(=well-being)を実現できる社会を作り出すことに貢献し、世界の有力大学と伍する大学へと生まれ変わる。

目標1 世界最高水準の研究教育を展開する知のプラットフォームとなる

多様なアプローチによる自由闊達な研究とそれらが基盤となって生み出される先端研究や、未来を築く探求心旺盛な学生を育てる教育により国際頭脳循環を創出し、世界最高水準の知のプラットフォームとなる。

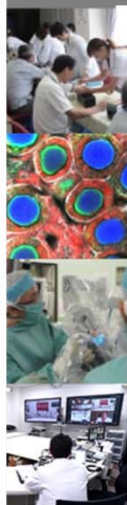
本調書では、次項「2」の本学の強み・特色を踏まえ、「3」で、総合知による社会変革に向けて本学が最優先で取り組むべきものとして、世界トップクラスの研究実績を誇る「脱炭素」「医療・健康」「環境・食料」の3つの研究領域による社会的課題の解決と、サイバー空間とフィジカル空間を高度に融合させたシステムにより経済発展と社会的課題の解決を両立する人間中心の社会「Society5.0」の実現を見据えた本学のDigital Transformation (DX)による教育・研究・医療などの高度化を目指した取組を述べる。

- 平成30年度 大学改革活性化制度により医学研究院の附属センターとして設置
- 平成31年度 教育研究組織整備概算要求

2030
目標

人社系との協働やDXによる**総合知**を活用し、**社会実装**を加速する

コア研究・コア技術・コア実績



- 高剖検率の精緻な**地域コホート** (久山)
- **プレジジョンメディスン専門診療科**
- マウス多能性幹細胞から**精子・卵子作成**
世界初
- **遠隔診療ハブ：世界初**
- アカデミア創薬初の日米欧薬事承認
- **トランスオミクスセンター**設置

- 2008年の設立以来アジアをはじめ世界81カ国1,189機関のハブとして展開
- 大学改革活性化制度により2名の教員措 (2015)

トランスオミクス解析

共通のトランスオミクス解析プロトコルの開発などによる疾患予測・早期発見

プレジジョンメディスン

疾患パネル開発などによる精密医療・革新的治療の社会実装

遠隔医療システム

世界に先駆け、高画質・安価な遠隔医療システムの開発などによる**身体機能維持・遠隔医療**

未来医療の提案

未来医療の社会的・倫理的問題解決や未来医療の経済合理性と持続性に関する提言

DXによる支援

DXによるオミクス・医療データ活用支援等の実施

※ DX : Digital Transformation

皆様、任期の4年間、大変お世話になり、
誠にありがとうございました。

九州大学病院の更なる発展を祈念致します。

動画 医療従事者応援プロジェクト「You are my HERO」

(動画時間: 1分32秒) 撮影日: R2.11.28(土)29(日)



※ 画像にポインターを重ねると、左下に再生アイコンが現れます。